

要望活動報告書

令和4年4月1日

知立市議会議員

立志会 山口 義勝

日時 令和4年3月29日（火） 午後1時00分～4時00分

場所 国会議事堂・参議院議員会館・衆議院第2議員会館

国会「衆議院本会議」を傍聴後、酒井 庸行参議員、石井 拓衆議員に対して、下記のとおり要望活動をしましたので報告します。

記

要望事項1

シルバー人材センター会員への負担軽減及びシルバー人材センターの自立的かつ安定的な事業運営のために、適格請求書等保存方式(インボイス方式)導入にかかる適切な措置を求める要望

1. シルバー人材センター会員が、シルバー人材センターより請け負う業務に対する対価については、適格請求書等の交付義務免除対象とすること。

要望事項2

オンライン本会議の実現に必要となる、地方自治法の改正を要望

1. 地方議会における本会議の開催が、情報通信技術による仮想空間での議会審議への参加、表決の意思表示によっても可能となるよう、議事堂への参集又は議場への出席が困難な場合には、会議規則により参集場所又は出席場所の複数指定や変更ができる旨を地方自治法において明文化すること。

要望事項3

個人番号カードの普及促進と財政支援に関する要望

1. 個人番号カードの普及促進のために、住民や関係機関等の混乱を招かないように、利便性を実感できるような制度設計を実施するとともに、効果的な周知を行い遅滞なく進めること。

2. 国が自治体に対応を求めるシステム改修に係る費用は全て国庫負担とするとともに、自治体が独自で実施するものについても財政措置を講ずること。

所 感

二人の国会議員の方々には大変お忙しいところ、真摯に話を聞いていただき感謝申し上げます。

地方自治体の現状における事業を推進する中で、諸課題についてご理解をいただくとともに、解決に向け要望をしました。

やはり地方での事業の推進においては、国からの補助金・交付金が欠かせない財源であるので、厳しい財政状況を鑑みてより一層の危機感を持ち、財源獲得に向けて、今後においても本市の発展のために、積極的に要望活動を行っていきます。